



**Boston
Scientific**
Advancing science for life™

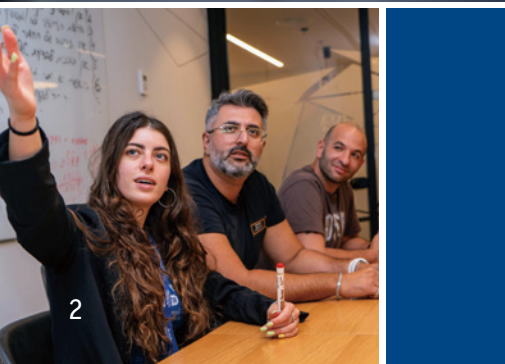
**Advancing
science for
more life**

We advance science for **life.**



Company Profile

会社案内



Our purpose

Advancing science for **life.**

Our mission + values

ボストン・サイエンティフィックは、
世界中の**患者さんの健康状態を改善**するために
革新的な治療法を提供し、
患者さんの人生をより多くのものにすることに
全力で取り組みます。

誠実さと思いやり
Caring

グローバルな連携
Global Collaboration

意義のあるイノベーション
Meaningful Innovation

多 様 性
Diversity

高い業績
High Performance

ウイニング・スピリット
Winning Spirit

▶ Greetings

ご挨拶

ボストン・サイエンティフィック コーポレーションは、1979年に米国で創業して以来、医療テクノロジーのグローバルリーダーとして、革新的な医療ソリューションを提供し、世界の医療の発展に貢献してまいりました。現在は127カ国で事業を展開し、診断から治療まで幅広い製品ポートフォリオを有しています。

日本法人であるボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社は、1987年の創立以来、先進的な医療機器を日本に導入し、医療従事者の皆さまとともに、患者さんにより良い治療選択肢をお届けしてまいりました。

当社が掲げる“Advancing science for life”は、サイエンスに基づくイノベーションにより、患者さんの人生をより豊かなもの

にしていくという姿勢を表しています。いまだ十分に満たされていない医療現場のニーズに向き合い、臨床的価値のある技術や製品を適切に届けることが、私たちの重要な役割です。

日本では高齢化の進展に伴い、医療資源の制約、医療従事者の負担増、地域医療の持続性などの課題が顕在化しています。医療の質と効率性の両立が求められる中、私たちは医療現場のニーズを的確に捉え、患者さん、医療従事者、そして社会に価値をもたらすことを目指しています。

これからもボストン・サイエンティフィック ジャパンは、メドテックのリーディングカンパニーとして、日本の医療の発展と持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

代表取締役社長

森川 智え



▶ Therapeutic Areas

日本における事業領域

ボストン・サイエンティフィックは、40年以上の間、グローバルなメドテックカンパニーのリーダーとして、医療現場の満たされていないニーズに対応し、医療効率を高める広範なソリューションを提供しています。日本においては、ここで紹介する治療領域において、患者さんの人生をより豊かなものにすることに全力で取り組み、日本の医療に意義のあるイノベーションを起こしてまいります。

エレクトロフィジオロジー

心房細動等不整脈の電気生理学治療に用いる製品群

インターベンショナル カーディオロジー

心筋梗塞や狭心症など、冠動脈疾患の狭窄部を診断・治療する製品群

ペリフェラル インターベンション

末梢動脈疾患（閉塞性動脈硬化症・バスキュラーアクセストラブル・腎動脈狭窄症など）の治療に用いる製品群

ウロロジー

結石・前立腺肥大症などの泌尿器疾患治療、前立腺がんに対する放射線治療、尿失禁治療に用いる製品群

カーディアック・リズム・マネジメント

心不全・不整脈治療に用いる植込み型製品群

左心耳閉鎖デバイス

左心耳を閉鎖することで非弁膜症性心房細動による脳卒中を予防する製品

ニューロモジュレーション

慢性難治性疼痛治療および不随意運動の治療に用いる製品群

エンドスコーピー

消化器系のがんやポリープ、胆石症、消化管狭窄症などの治療、呼吸器疾患の診断・治療に用いる製品群

▶ Boston Scientific at a Glance

意義あるイノベーションの成果

ボストン・サイエンティフィックは、研究開発への継続的な投資とグローバルな事業基盤を通じて、世界中の医療従事者と患者さんに価値ある医療ソリューションを提供しています。

売上高
年間 **約200億ドル**

45年以上
にわたり医療の未来を切り開く

年間 **4,800万人超**
の患者さんの治療を支援

127の国々
で事業展開

全世界における社員数
59,000人

年間 **約20億ドル**
の研究開発費

約100種
の新製品を
2025年に上市



▶ Corporate Responsibility

持続可能な社会に向けて

ボストン・サイエンティフィックは、革新的な医療の提供に加え、人とコミュニティの可能性を引き出し、より健やかな地球環境の実現に貢献し、誠実さに基づく事業活動を通じて、持続可能な社会への責任を果たしていきます。

革新的な医療

意義あるイノベーションを通じて医療を進歩させ、人々がより長く、より健やかに生きることにも貢献します。



人とコミュニティのエンパワーメント

社員一人ひとりの可能性を引き出し、地域社会とのつながりを強める機会を創出します。



誠実さに基づくパフォーマンス

倫理的な事業活動を、責任ある意思決定と価値提供の基盤としています。



より健やかな地球環境へ

環境への影響を低減し、より持続可能な社会の実現に貢献します。



2050年までに、
バリューチェーン全体で
温室効果ガス排出量
ネットゼロを目指します。

2030年までに、
主要な製造・物流拠点で
カーボンニュートラルを
目指します。

サプライチェーン全体での
環境負荷低減に
取り組みます。

▶ People & Culture

多様な人材が力を発揮できる環境

ボストン・サイエンティフィック ジャパンでは、多様な社員が自律的に学び、柔軟に働き、互いを尊重しながら力を発揮できる環境づくりに取り組んでいます。

1

自律的なキャリア形成と成長機会



社員一人ひとりがキャリアを描き、挑戦と学びを通じて成長できる環境を整えています。社内公募や応募型・選抜型の育成プログラム、グローバルな学習機会などを通じて、一人ひとりの成長ステージに応じた学びと主体的なキャリア形成を支援しています。

主な取り組み

社内公募／多様な育成プログラム／キャリア開発支援

2

最大限のパフォーマンスを発揮できる柔軟な働き方



一人ひとりが最大限のパフォーマンスを発揮できるよう、柔軟な働き方を実現しています。ハイブリッド勤務や、業務内容に応じて働く場所を選ぶABW (Activity Based Working)、スーパーフレックス制度など、より効果的に働ける環境を整えています。

主な取り組み

ハイブリッド勤務／ABW／スーパーフレックス

3

多様な人材が活躍できるインクルーシブな環境



多様な価値観や経験を持つ社員が、それぞれの強みを活かして活躍できる環境づくりを進めています。制度や取り組みの充実に加え、互いを尊重し支え合うインクルーシブなカルチャーの醸成を推進しています。

主な取り組み

女性活躍推進／障がい者雇用／育児・介護支援／
社員リソースグループ／Well-being

▶ Key Facilities in Japan

Institute for Advancing Science (IAS)

EDUCARE

EDUCAREは、“EDUCATION”と“CARE”を組み合わせで名づけた、世界中の市場に製品テクノロジーを提供している私たちならではの「医療従事者向け教育プログラム」のブランド名称です。グローバル全体で患者ケアをサポートする包括的な教育とトレーニングのプログラムを提供します。



医療従事者の方々に、当社の製品を安全かつ適正にご使用いただくことを目的に、1998年、インターベンション治療トレーニングセンターのパイオニアとして、最先端の設備と充実したプログラムを備えた施設を開設しました。

現在日本国内では東京と宮崎の2カ所に拠点を設けており、宮崎の施設は2025年にリノベーションを完了し、より快適で機能的な環境へと生まれ変わりました。

東京と宮崎の両施設では、当社製品の安全かつ適正な使用を支援するため、最新の製品情報や医療技術をご紹介します。医療従事者の方々が、治療戦略を立てる際や、現場で直面する課題を解決するためのプログラム（カリキュラム）をご用意しており、臨床に近い環境でのトレーニング（シミュレーションを含む）も提供しています。

また、IAS宮崎では、地域貢献の一環として、地元の中학생や高校生を対象に企業見学を実施しています。このプログラムは、若い世代にさまざまな職業や企業の取り組みを知ってもらい、将来の進路を考えるきっかけとなることを目的としています。



横浜物流センター（YDC）

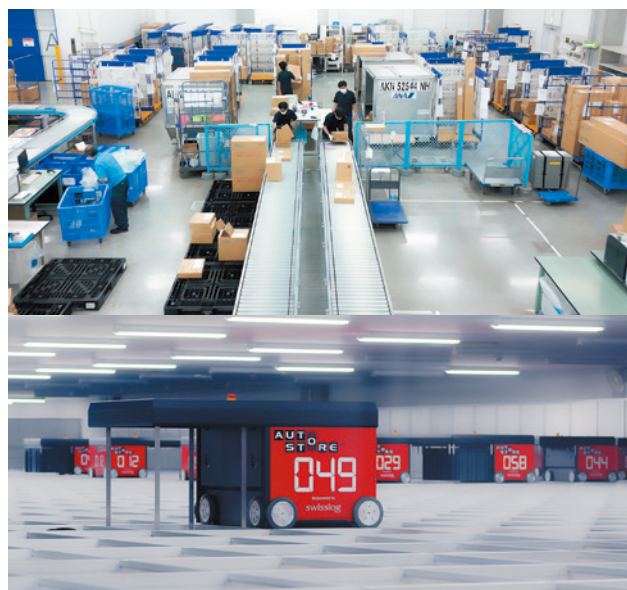
海外拠点から輸入した医療機器を国内で販売・流通できるように、ラベルの添付や包装を行い、より迅速に製品を全国のお客様へ向けて出荷しています。

設立以来、積極的にリサイクルプログラムを推進しており、2013年からは、返却輸送箱の一部や緩衝材の再利用による廃棄削減を実施、固形廃棄物を削減しました。

また、日本の医療機器・製薬メーカーとしては、いち早く自動ロボット制御ピッキングシステムであるAutoStoreを導入し、より効率的で正確な製品の先入、先出を実現しています。

このシステムの導入により、特定のロット番号を有する製品をピックアップすることが可能となり、例えば、製品の滅菌有効期限切れによる廃棄削減にも役立っています。

次世代のオートメーションやセンサーを使ったIoT技術により、当社のサプライチェーン機能は大幅に強化されました。今後も、サードパーティ・ロジスティック企業と戦略的なパートナーシップを組み、直面する課題を見据えて解決していきます。



会社概要

ボストン・サイエンティフィック コーポレーション

所在地 米国マサチューセッツ州 マールボロ
最高経営責任者 MICHAEL F. MAHONEY
(CEO)
海外拠点 北米、南米、ヨーロッパ、中近東、アフリカ、
アジア・パシフィック、日本

ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社

本社所在地 〒164-0001 東京都中野区中野4-10-2 中野セントラルパークサウス
代表取締役社長 森川 智之
事業所 東京、札幌、仙台、金沢、北関東、名古屋、大阪、広島、福岡、
横浜物流センター、IAS宮崎、IAS東京
創立 1987年11月
主要取引先 全国主要病院
事業内容 医療機器の製造・輸入および販売
医療に関する情報提供サービス
医療に関するセミナー、講演会、展示会の開催など医療機器の臨床開発、
薬事申請およびこれらに付随・関連する業務

沿革



紫文字(米国)／青文字(日本)

ボストン・サイエンティフィックの原点には、「低侵襲な治療によって、患者さんの人生をより実りあるものにできる」という創業者の強い信念があります。革新を実現するには、技術だけでなく、洞察・勇気・そしてコラボレーションが不可欠であるという考えは、今も私たちのDNAに受け継がれています。

私たちは常に、現状に満足することなく、医療従事者とともに声を聴き合い、学び合いながら、人生をより長く、豊かにするソリューションを生み出してきました。これからも「患者さん中心」の姿勢を胸に、医療の未来をともに切り拓いてまいります。



詳しくは当社Webサイトをご覧ください
www.bostonscientific.jp

**Boston
Scientific**
Advancing science for life™